

令和6年7月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

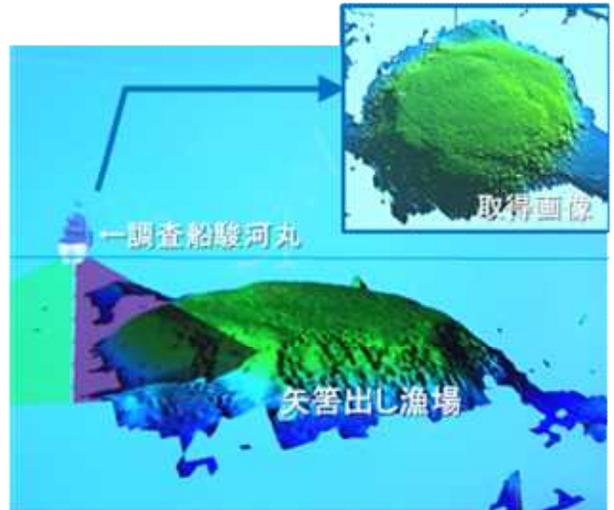
調査船駿河丸によるキンメダイ漁場調査を行いました

伊豆東岸のキンメダイ漁業者が利用する漁場の海底地形を明らかにするため、6月17-18日及び19-21日の2航海に分け、「調査船駿河丸」で稲取埼沖に位置する「矢筈出し」を調査しました。

写真上はマルチビームソナー（FURUNO製）による調査中の画像です。この他にも、漁場周辺の水深測量やCTDによる深度別水温・塩分等の観測を行いました。

今回掲載した写真は調査中に撮影したのですが、今後、取得したデータを取りまとめ、漁場の画像と併せて関係漁業者に結果を報告する予定です。

解説：マルチビームソナー 海底地形等の探査装置のうち、船舶周囲方向の広範囲をカバーできるもの。探査中のイメージは写真右下を参照。



↑右上：矢筈出しの取得画像、下：観測イメージ

キンメダイの親魚採捕調査を開始

キンメダイの産卵期が近づいたことから、親魚採捕調査を開始しました。

6月8日、伊豆漁協稲取支所所属の漁船を傭船し、伊豆半島東沖の漁場でキンメダイを116尾採捕しました。採捕したキンメダイは稲取港から活魚輸送車で焼津の駿河湾深層水水産利用施設に活きたまま搬入され、長期成熟試験に供されます。

今後も調査を継続しながら、成熟した親魚が確保でき次第、人工授精及びふ化仔魚飼育試験に取り組む予定です。



↑キンメダイを釣り上げる ↑活魚輸送車

解説：長期成熟試験 駿河湾深層水で長期飼育したキンメダイに成熟促進ホルモンを投与し、その効果を調べます。

富戸の藻場再生に向けた取組

伊東市富戸沖では、藻場が減少する「磯焼け」が問題になっていることから、漁協や漁業者等で構成される「富戸藻場再生協議会（以下、協議会）」が6月7・25日に、いとう漁協富戸支所において、カジメの幼体を移植用プレートに接着する作業を行いました。

今後、協議会はカジメ付きプレートを富戸沖の海底に設置する予定です。



↑プレート接着作業の様子

カジメ付きプレート→

解説：藻場とは海藻が生い茂る場所で、主にカジメ（ワカメの仲間でアワビ等の餌となる）やホンダワラ（ヒジキの仲間）等の大型海藻の群落を指します。

7月の予定 ●キンメダイ親魚採捕調査（南伊豆）●キンメダイ親魚採捕・人工授精調査（駿河丸）●キンメダイ種苗生産研究現地検討会（柏崎市）●長期漁海況予報会議（横浜市）●カジメ移植の実施（伊豆各地）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。